



Daily Report

by Fumio Mizutani

市況概況

リスク志向の投資スタンスが高まりましたが、利食い材料も！

米国経済指標は総じて良い数字のようで、リスク志向の投資スタンスがあらゆる金融商品に見られました。NY 株式大幅上昇、債券売り、そして原油・金など商品相場上昇です。為替市場でもリスク志向からドルが売られ、資源国通貨豪ドル、欧州通貨などに買いが入っています。日本の投資家もそれに追随し、クロス円での全面高になっています。従ってドル/円はドル買いとなるわけです。米6月消費者物価指数が0.7%前月比と予想よりもかなり高い数字と言うことで、インフレ懸念という発想が出たようです。そしてFOMC議事録と。FOMCの内容として、2009年GDPを-1.5%から-1.0%と上方修正する一方で、失業率予想は9.8%から10.1%へ下方修正しています。内容を読んでみると「経済は非常に弱いままだが、景気の減速感が少なくなりつつある。」とし、景気の楽観論と悲観論が混在するものの、景気後退は終息に向いつつあるような印象です。先月のFOMC翌日の一部金融政策の打ち切り発表は、金融危機は既に去り、FEBは出口戦略を準備する段階に来ているとの発想になりましたが、議事録はそれを裏付ける内容となっています。

米ノンバンクCITグループが破産法申請の可能性があることメディアは報道しています。米中小企業向けの金融サービスが主な業務とようです。米財務省とFRBからの支援が受けられる可能性が低く、代替案を検討しているとしています。リスク志向からドル売り(対欧州通貨)円売りの為替相場ですが、その流れに水を差す要因と言えます。利食いが一旦で安い相場になるかもしれません。短期取引中心の参加者は利益確保で、状況を見て底値拾いのスタンス継続です。

昨日の日銀の金融政策決定会合では、資金供給策について、社債やCP(コマーシャル・ペーパー)の買取りを9月末から12月末まで延長を決めました。中小企業を中心に企業の景況感が依然として厳しく、企業金融に潤沢に資金を投入することは必要だとの認識が白川総裁以下メンバーには強いようです。日本の出口戦略模索は時期尚早のようです。

中国の第2四半期GDPが7.9%(前年比)と予想よりも強い数字の発表です。世界経済の現在の牽引車としての存在感は大きい。アジア時間帯は、CITグループの破産の可能性報道で動きづらい相場ですが、欧州時間帯から動きが出てくると思います。中国を中心に世界経済回復期待感からリスク志向の動きが強まる可能性が強まっています。引き続き米経済指標そして金融機関の決算発表に注意を。

為替見通し

ギャンチャートに沿った動き！

ドル/円	93.50~95.00 弱い節目93.50を明確に上回ってきました。12月18日安値87.22(open)起点のギャンライン1x8(現在94.43)水準に達しました。この水準では利食いなどポジション調整が行われます。ドル・ブルトレンド(強気)に戻っています。非常に重要な節目96.00が次の目標です。下値は93.50がサポートです。
ユーロ/ドル	1.4000~1.4150 リスク志向回復からユーロ・ブルトレンドに戻っています。10月27日安値1.2466(last)起点のギャンライン1x8(現在1.4021)がサポート(支持線)に転換しました。重要な節目1.4200が次の目標となります。RSIは55.2と中立レベル。
ユーロ/円	131.80~133.30 ユーロ/ドルでのユーロ高、ドル/円での円安が明確で、クロス円はユーロ・ブルトレンドです。非常に重要な節目133.00を上回って行くかが注目です。RSIは49.1と中立レベル。
ポンド/ドル	1.6300~1.6500 リスク志向回復からポンド上昇が続いています。3月11日安値1.3745(open)起点のギャンライン1x4(現在1.6134)がサポートになっています。非常に重要な節目1.6300も突破し、次の重要な節目1.6600が目標となります。11月17日安値1.4652(open)起点の1x8(現在1.6615)ともほぼ一致します。RSIは55.6と中立レベル。
豪ドル/ドル	0.7930~0.8080 リスク志向回復から資源国通貨豪ドルも買われる展開です。中豪関係悪化懸念はかき消された格好です。昨日指摘の6月3日高値0.8203(open)起点のギャンライン1x8(現在0.8050)に達し、利食い売りも出る相場となっています。利食いを入れつつ、底値は拾うスタンスです。
豪ドル/円	74.50~76.00 豪ドル/ドルでの豪ドル高、ドル/円での円安と、クロス円でも豪ドル・ブルトレンドです。ギャンチャート通りの動きです。6月12日高値79.91(open)起点のギャンライン1x3(現在75.49)に達し、利食い売りも出る相場となっています。利食い売りを入れつつ、底値はしっかり拾うスタンスです。

注目点

米ノンバンクCITグループの動きにも注意を！

欧州時間帯 21:00	ユーロ圏 グゲレル ECB(欧州中央銀行)専務理事 記者会見
米国時間帯 21:30	米 JPモルガン・チェース決算発表
23:00	米 新規失業保険申請件数(7月11日の週): 予想55.3万件(前回56.5万件)
3:00	米 7月フィラデルフィア連銀景況指数: 予想-4.8(前回-2.2)
東京時間帯 10:30	米 デュークFRB(米連邦準備理事会)理事 下院議会証言
14:00	豪 第2四半期輸入物価指数: 予想-6.0%前期比、-16.0%前年比(前回-2.8%、-4.6%) 日 5月景気動向調査・改定値「一致CI指数」: 予想87.1(前回86.9), 「先行CI指数」: 予想76.8(前回77.0)

本資料は情報の提供を目的としており、投資その他の行動を勧誘する目的で、作成したものではありません。投資に関する最終的決定は、お客様ご自身の判断で行ってください。各種資料の情報は、ODL JAPAN 株式会社が著作権を保有しています。無断の複製、インターネット上のアップロード、転載、販売、改変その他著作権法の利用行為は重大な法律違反となります。著作権保有者は、本資料の内容に関する正確性、信頼性、安全性を保障いたしません。また、本資料の利用に起因するお客様の直接的または間接的損失および損害についてもODL JAPAN 株式会社及び情報提供元はこれに係わる一切の責任を負いかねますのでご了承ください。